

6. 目標と施策

(1) 数値目標

目標項目	現状値	目標値	目標値の説明	データ出典
妊産婦死亡率 (出産10万あたり) ()内は実数	9.4 (1人) 【R4】	0.0	出産10万あたりの妊産婦死亡率0を目標とします。	人口動態調査
周産期死亡率 (出産千あたり)	2.9 【R4】	2.0以下	出産千あたりの周産期死亡率2.0以下(令和元年全国1位相当)を目標とします。	人口動態調査
うち死産率 (22週以後) (出産千あたり)	2.6 【R4】	1.8以下	出産千あたりの22週以後の死産率1.8以下(令和元年全国1位相当)を目標とします。	人口動態調査
うち早期新生児死亡率 (出生千あたり)	0.4 【R4】	0.3以下	出生千あたりの早期新生児死亡率0.3以下(令和元年全国2位相当)を目標とします。	人口動態調査
病院勤務小児科医師数 (小児人口1万人あたり) ()内は実数	6.5人 (137人) 【R2】	7.9人以上 (169人)	小児人口1万人あたりの病院勤務小児科医師数が全国平均以上となることを目標とします。	医療施設調査
就業助産師数 (人口10万人あたり) ()内は実数	28.5人 (496人) 【R4】	30.5人以上 (530人)	人口10万人あたりの就業助産師数が全国平均以上となることを目標とします。	衛生行政報告例

(2) 取組内容

取組方向1：周産期医療を担う人材の育成・確保

- 医師修学資金貸与制度の運用等により、産婦人科医や小児科医等、専門医の育成・確保を進めるため、具体的な施策を検討していくとともに、助産師等の周産期医療を担う専門性の高い人材の育成と確保を進めます。(医療機関、医療関係団体、県)
- 周産期母子医療センターの医師が、産婦人科医の確保が困難な産科医療機関へ応援診療を行う取組を進めます。(医療機関、三重大学、県)
- 子育て中の医師や看護職員等が意欲を持って働き続けることができるよう、病院内保育所の整備や短時間正規雇用制度の導入等、勤務環境や待遇面の改善を進めます。(医療機関、医療関係団体、県)

9. 周産期医療対策

【数値目標】

項目	現状値（年次）		目標値	データ出典
妊産婦死亡率（出産10万あたり） （ ）内は実数	9.4 (1人)	R4	0.0	人口動態調査
周産期死亡率（出産千あたり）	2.9	R4	2.0以下	人口動態調査
うち死産率（22週以後）（出産千あたり）	2.6	R4	1.8以下	人口動態調査
うち早期新生児死亡率（出生千あたり）	0.4	R4	0.3以下	人口動態調査
病院勤務小児科医師数（小児人口1万人あたり） （ ）内は実数	6.5人 (137人)	R2	7.9人 (169人)	医療施設調査
就業助産師数（人口10万人あたり） （ ）内は実数	28.5人 (496人)	R4	30.5人 (530人)	衛生行政報告例

【基本指標】

項目	現状値（年次）		データ出典	
産科・産婦人科医師数	170人	R2	医師・歯科医師・薬剤師統計	
分娩を取扱う医師数（病院） ※常勤換算	91.0人	R2	医療施設調査	
分娩を取扱う医師数（診療所） ※常勤換算	37.7人	R2	医療施設調査	
助産師出向支援の実施件数	4組	R4	三重県調査	
NICUを有する病院・病床数	7病院63床	R2	医療施設調査	
GCUを有する病院・病床数	5病院57床	R2	医療施設調査	
分娩取扱施設数（病院）	13施設	R5.10末	三重県調査	
分娩取扱施設数（診療所）	17施設	R5.10末	三重県調査	
分娩数（病院）	4,930件数	R4	三重県調査	
分娩数（診療所）	6,276件数	R4	三重県調査	
母体・新生児搬送数	母体	284件	R3	NDB
	新生児	212件		
母体・新生児搬送数のうち受入困難な事例の件数	43件	R3	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査	
災害時小児周産期リエゾン委嘱人数	27人	R5	三重県調査	
NICU入室児数	1,536人	R2	医療施設調査	
NICU入院児の退院支援を専任で行う人が配置されている周産期母子医療センター数	2施設	R4	周産期医療体制調査	
ハイリスク分娩管理加算届出医療機関数	12施設	R5.10	診療報酬施設基準	